

# WEATHER MASTER® SCREEN TARP CELL

[ ウェザーマスター® スクリーンタープ CELL ]

## 取扱い・組立て説明書



**この取扱い説明書は大切に保管してください。**

この度はコールマン製品をお買い上げいただき誠に有難うございました。設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、本製品を傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

# 組立・使用上の注意及び禁止事項



## 危険

この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

- テント内での火気の使用は、大変危険です。一酸化炭素中毒等、生命をおびやかすおそれがありますので、絶対におやめください。
- 台風、暴風雨、落雷等の異常気象の際は危険ですのでテント、タープの使用はお避けください。
- 河原や中洲、崖下などの増水、落石の危険のある場所でテント、タープを設営しないでください。



## 注意

この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、または物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- キャンプ場へお出かけの前に全ての部品が揃っているか確認してください。
- テント、タープの設営は基本的2人以上で行ってください。無理な設営はポールの破損や本体破れの原因となります。
- テント、タープの設営の際は保護用に手袋などを着用してください。
- ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。指などを挟まないように注意してください。また周囲に十分に注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- テント本体を立ち上げる際はポールの破損やはね返りに注意してください。
- ペグを打つ際にハンマーで指などを打たないように注意してください。
- 小さいお子様にポールの組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- 風が強い時または、強風が予測される場合はテント、タープの設営を行わないでください。本体が飛ばされて思わぬ事故やポール折れ、本体破損の原因となります。
- テント、タープ設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- 石や木の枝等、テント、タープを傷つけるおそれのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- テント、タープ本体は必ずペグとロープで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり雨水が溜まって思わぬ事故につながる場合があります。
- テント、タープを設営する場所によっては付属のペグが使用できない場合があります。あらかじめ行かれる場所の地面の状態を確認して適切なペグをご用意ください。
- テント、タープから長時間離れる場合は必ず撤収してください。急な天候の変化、突風などにより、テント、タープが飛ばされて思わぬ事故の原因となります。
- 結露について  
テントのフライシート、タープの生地には防水加工が施されていますので、外気との温度差が大きいと生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。テントのフライシート、タープ内の空気を循環させ換気を行うことで結露の発生を低減することができます。

# 収納・管理の注意



## 注意

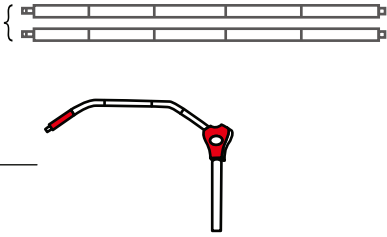
この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、または物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態での収納すると防水効果が著しく損なわれ、色移り、カビ発生の原因となります。
- 撤収時、雨などで本体を乾かせない場合は、持ち帰ったあとできるだけ早く乾燥させてください。そのまま放置すると防水効果が著しく損なわれ、色移り、カビ発生の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取りよく乾燥してから保管してください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色およびプリントや樹脂加工の剥がれの原因になります。
- ポール本体に付いた水分や砂、土はきれいに拭き取ってから収納してください。また、濡れたまま収納しますと腐食の原因となります。
- 本体、収納ケースは洗濯しないでください。
- 幼児、子供の手の届かない場所に保管してください。

# 各部の名称・セット内容

**セット内容** お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

- 本体 1張
- ルーフポール(アルミ/シルバー) 2本
- レグポールセット(アルミ/シルバー レッド) 4本
- キャンピポール(スチール/グレー) 2本
- ルーフフライ 1枚
- 自在ロープ(グリーン) 11本
- 自在ロープ(ベージュ) 4本
- スチールペグ 31本
- ハンマー 1ヶ



## 設置時



### 設営時のポイント

本製品は、各ポール、スリーブ、ループの一部に塗装を施しており、ポールをスリーブに通す際やループのエンドグリップにセットする際は、それぞれ同じ色のパーツにセットすることで、簡単に設営できます。

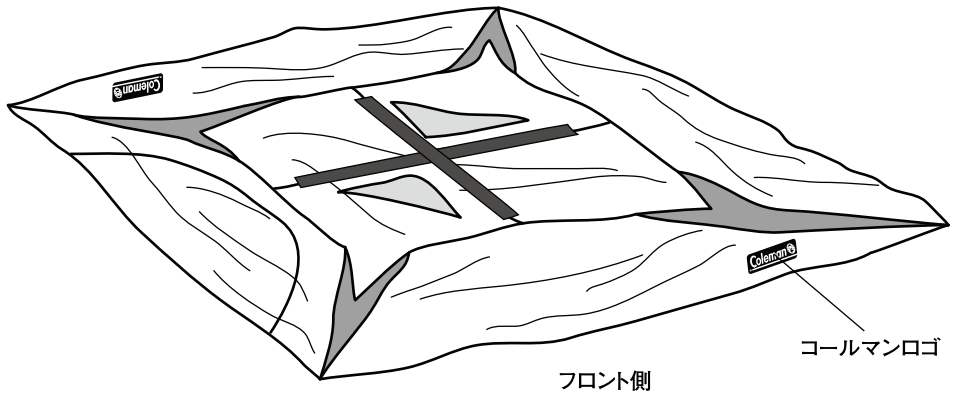
# 設 営 手 順

## I

### 本体を広げます

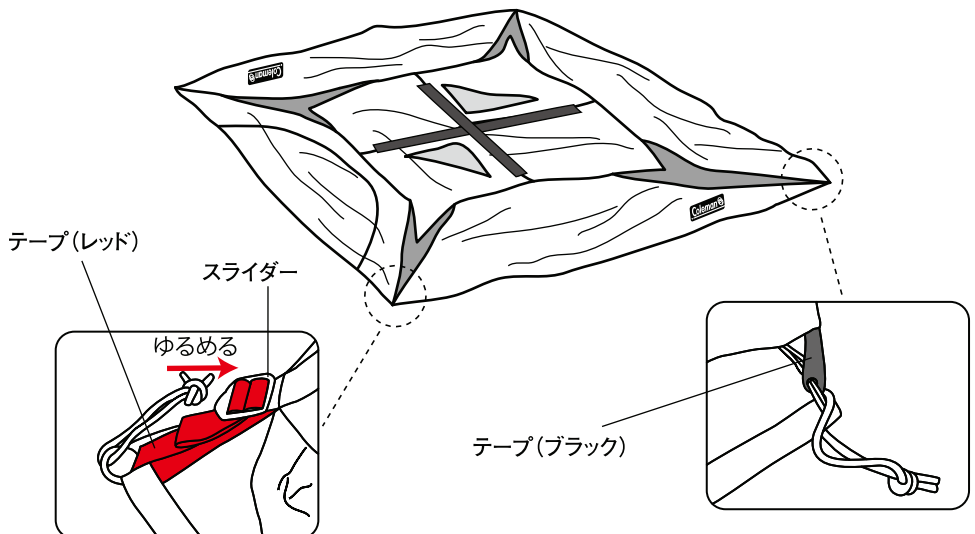
#### STEP 1

本体を広げます。  
キャンピー、ドアのファスナーは閉じておきます。  
スタンディングテープのバックルをとめておきます。  
コールマンロゴのあるほうが、フロント/リア側になります。(前後同じ形です。)



#### STEP 2

本体のコーナーループのうち、スライダーのついた2カ所(テープがレッド)をゆるめておきます。



## II

### ルーフポールをセットする

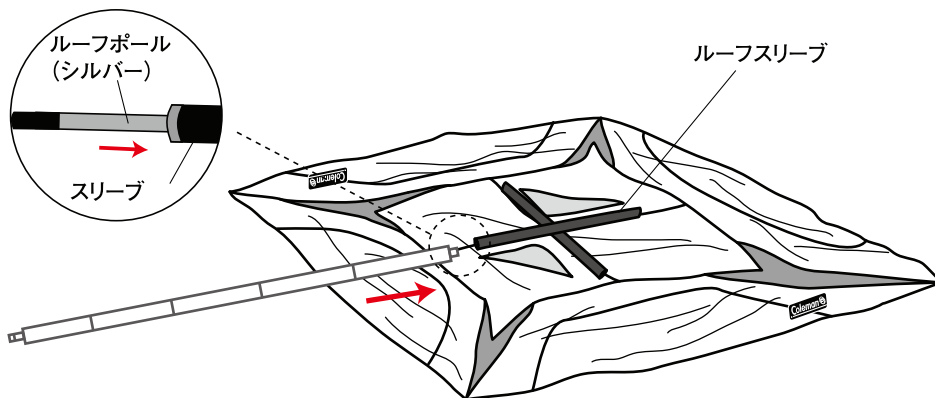
**STEP 3** ルーフポール(シルバー)2本を伸ばします。



**注意**

ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。  
不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

**STEP 4** ルーフポール(シルバー)をルーフスリーブ(端がグレー)に通します。

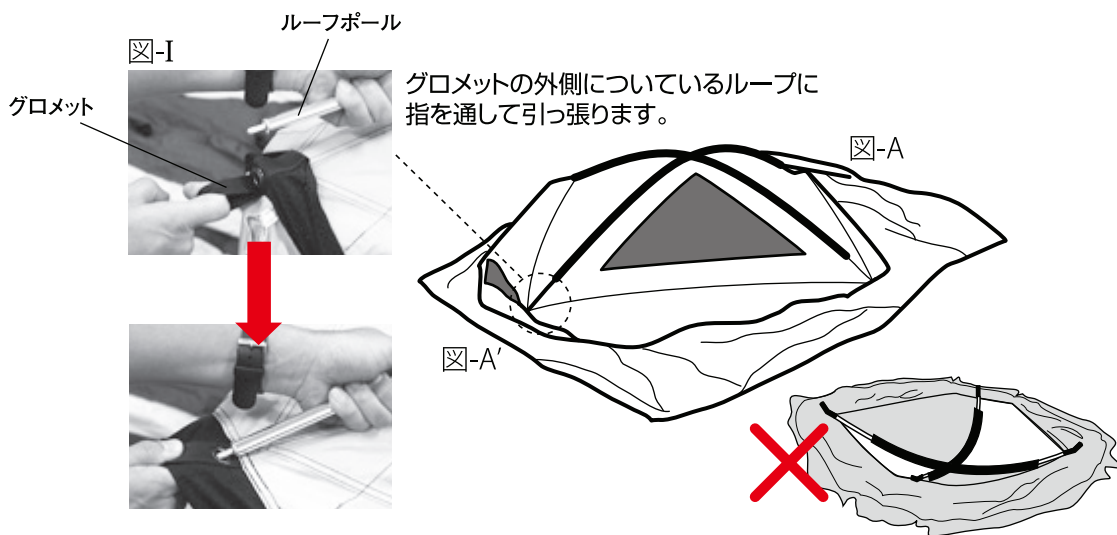


**注意**

スリーブにポールを通す際は引っ張らず必ず押し入れてください。

# STEP 5

ルーフポールの片側の端をグロメットに差し込みます。(図-A部分)  
反対側の端もグロメットに差し込みます。(図-A'部分)  
図-Iのようにループに指を通して引っ張るとポールを差し込みやすくなります。



**注意** ポールをグロメットに差し込む際、指などをはさまないように注意してください。

**注意** ポールの跳ね返りで屋根がおわん型にならないようにしてください。

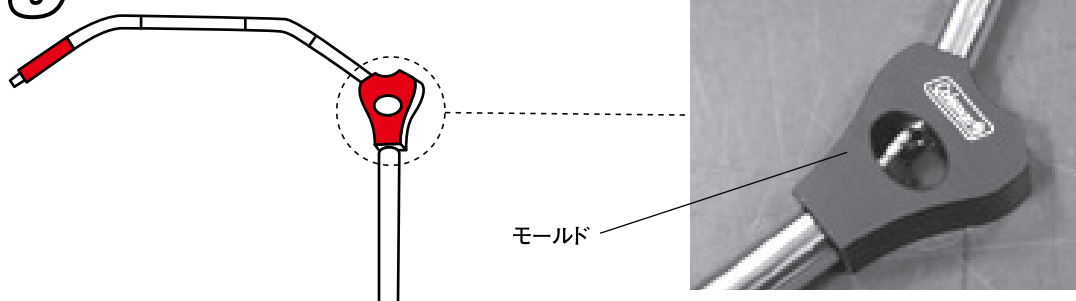
## III

### レッグポールをセットする

# STEP 6

レッグポールセット4本を伸ばします。

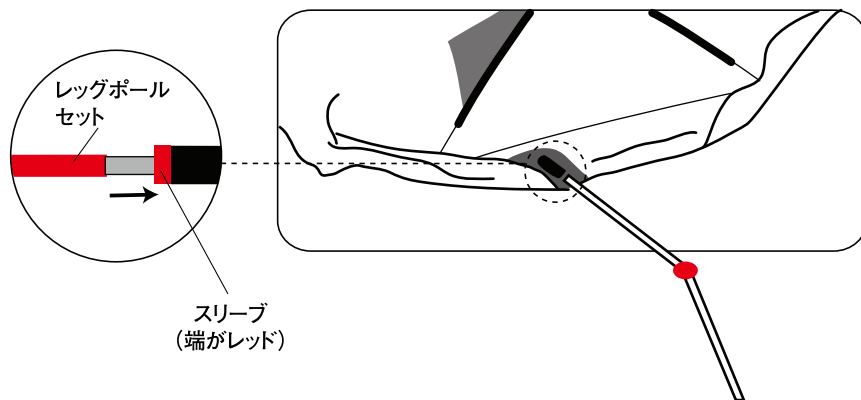
コールマンロゴのあるほうが外側になります。



**注意** ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合は、ポールが折れる可能性があります。

# STEP 7

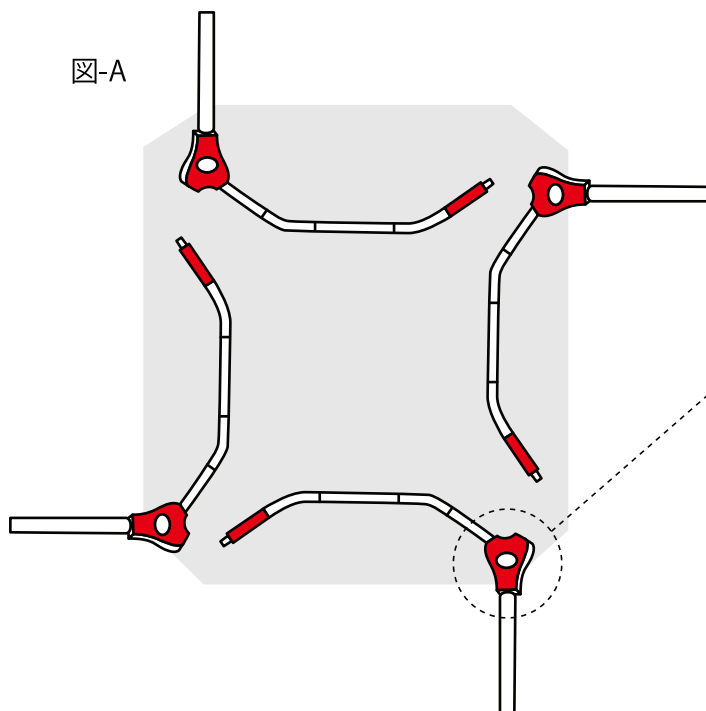
レッグポールセットをスリーブ(端がレッド)に通します。  
下図-Aのように4本を同じ方向でスリーブに通していきます。



**注意**

スリーブにポールを通す際は引っ張らず必ず押し入れてください。

図-A



コールマンロゴのあるほうが  
外側になります。



## STEP 8

レッグポールの端(レッド)を、となりのモールドに差し込みます。

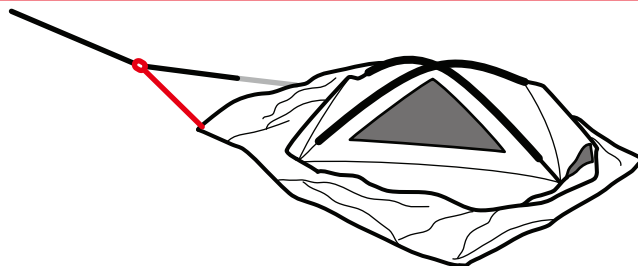


ポールの差し込みが不十分な際にわかるようゴールドになっています。



**注意**

ポールを完全に差し込んでください。  
不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。



**注意**

上図のようにレッグポールの端が上を向くような形状になります。  
差し込みにくい場合は、無理をせず、そのまま 次のステップに進んでください。

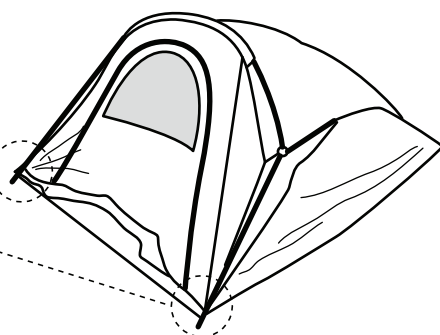
## IV

### 本体を立ち上げる

## STEP 9

レッグポールの端を本体コーナーのクリップに差し込み、本体を立ち上げます。この時、4カ所のコーナーのうち、スライダーのついていないテープがブラックのところから立ち上げていきます。※反対側のテープはレッドでスライダーがついています。

テープ(ブラック)



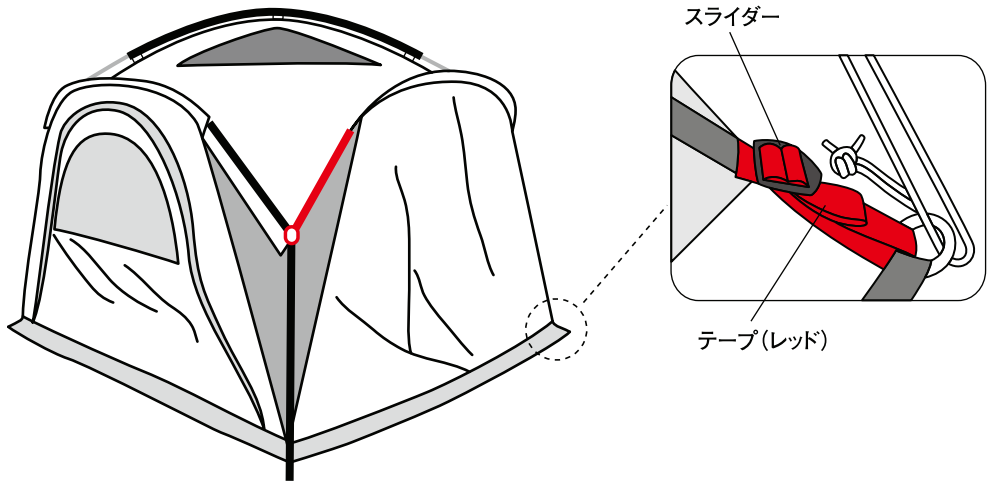
**注意**

ポールをクリップに差し込む際には、指などをはさまないように注意してください。



# STEP 10

反対側も同様に立ち上げていきます。

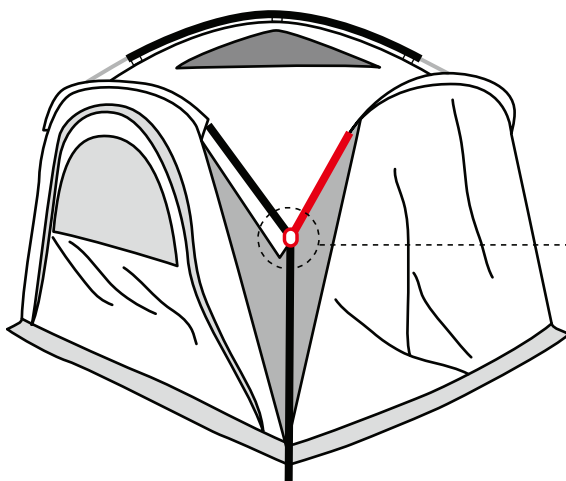


## 注意

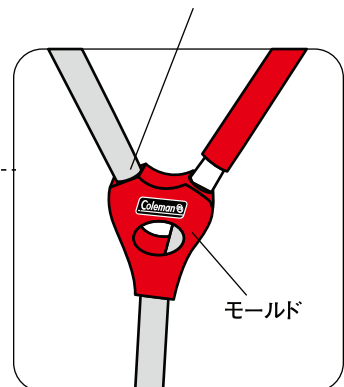
ポールをクリップに差し込む際には、指などをはさまないように注意してください。

# STEP 11

本体が立ち上がったら、各ポールの節がしっかりと差し込まれているか確認します。特にレグポールセットのモールド部分を確認してください。



ポールの差し込みが不十分な際にわかるよう、その部分がゴールドになっています。



## V 設営位置を決め固定する

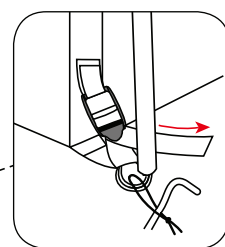
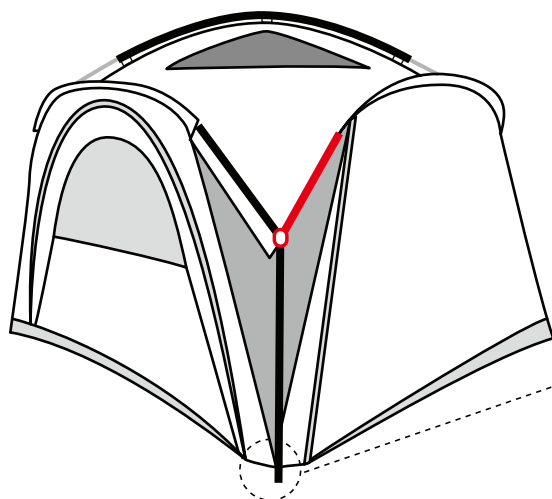
**STEP 12** ファスナーをすべて閉めます。



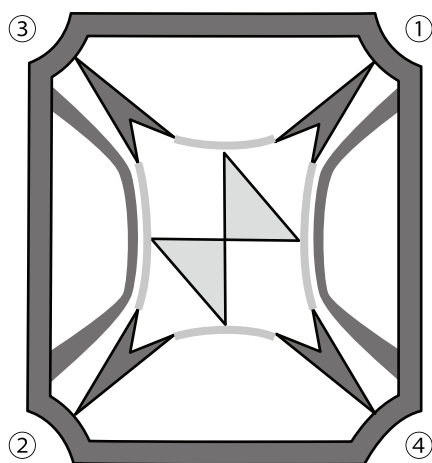
**注意**

ファスナーを開けたまま設営すると、ペグで固定した際にキャンピー、ドアが開閉できなくなることがあります。

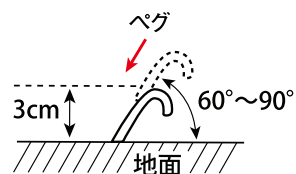
**STEP 13** 設営位置を決め、図のように4カ所のループを風上よりの①、④順で対角線にペグを打ち込み、本体を固定します。



上から見た図



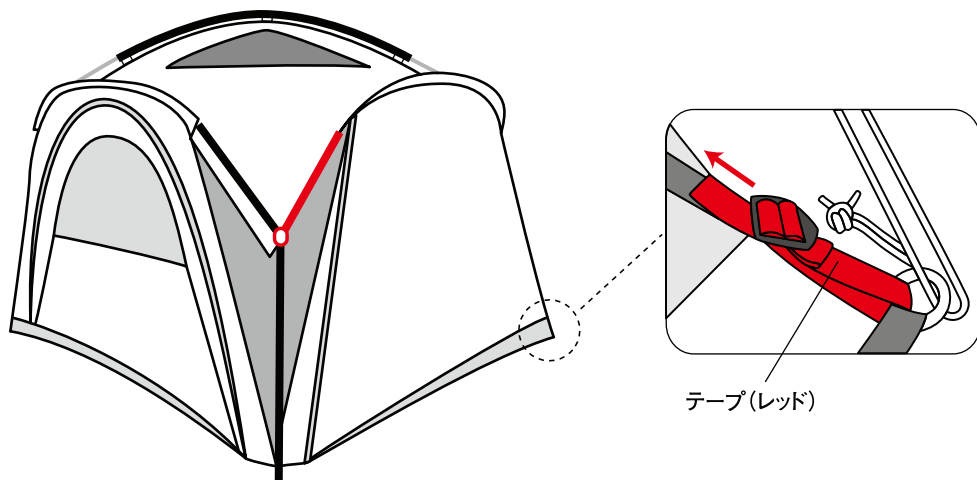
風向き



ペグは引かれる方向の反対側へ60°~90°の角度に打ち込むと風に対して強く設営できます。

# STEP 14

2カ所のコーナーのテープ(レッド)を引き、たるみを取って張り具合を調整します。

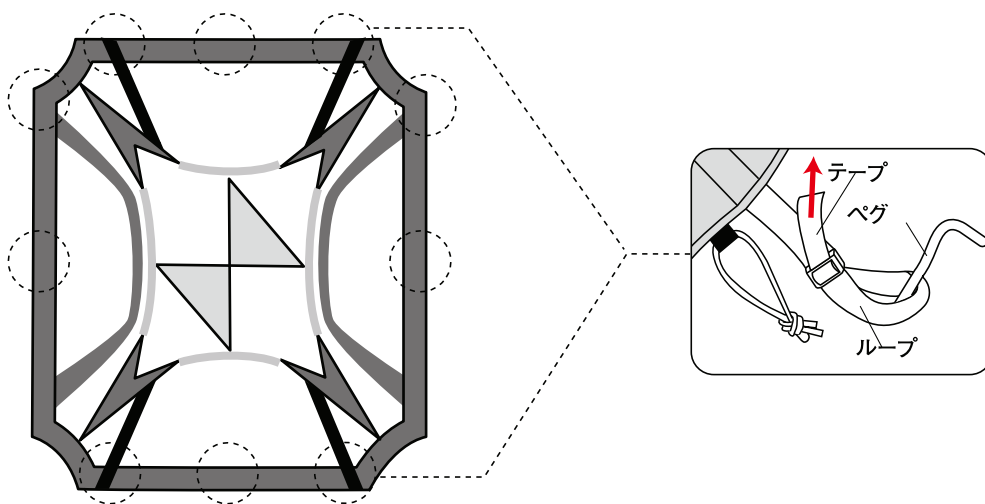


**注意**

テープを引きすぎないように注意してください。

# STEP 15

フロント、リア、サイド側のループを張り出し、ペグで固定します。



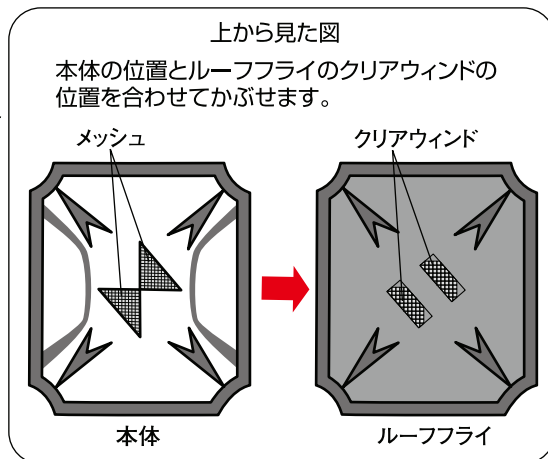
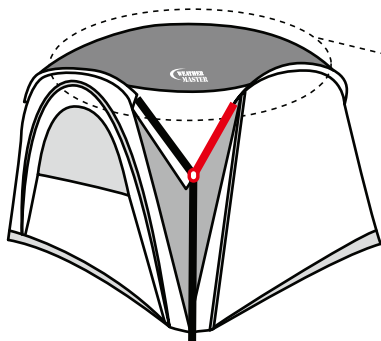
**注意**

ペグで固定する前に、必ずファスナーを閉じておいてください。  
ファスナーを開けたまま固定すると閉じられなくなる場合があります。

# VI ルーフフライシートをかぶせる

## STEP 16

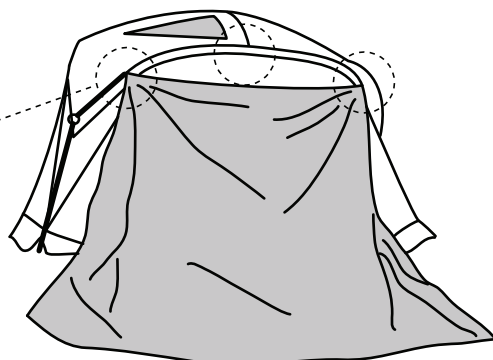
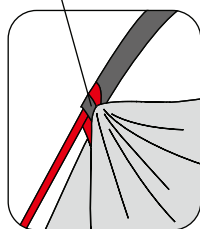
ルーフフライシートを広げます。  
ルーフフライシートのクリアウインドウが、本体天井部のメッシュ部と重なります。



### ●ルーフフライシートのかぶせ方

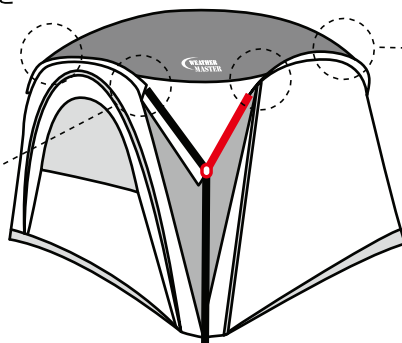
図のようにルーフフライシートを裏返して、片側の端のベルクロテープをポールに固定します。

ベルクロテープ

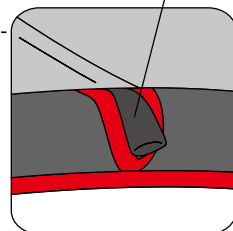


反対側のコードを両側から持ち、ルーフフライシートをかぶせます。

各コーナーのベルクロテープをポールにとめます。

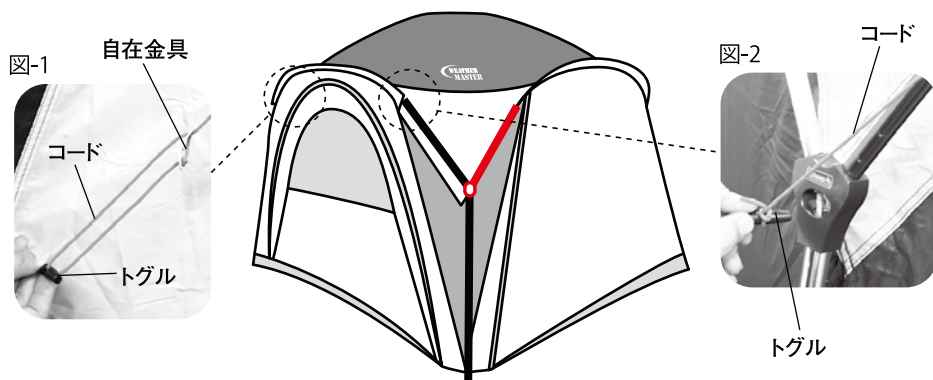


スリット

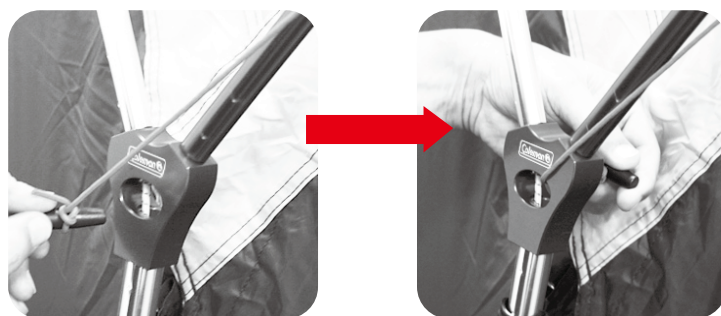


ルーフポールの先端部とルーフフライシートのスリットに合うようにします。

ルーフライシートの端をコード(レッド)で固定していきます。  
片側のコードの端にはトグルのみ(図-2)が、反対側には自在金具と  
トグル(図-1)がついています。

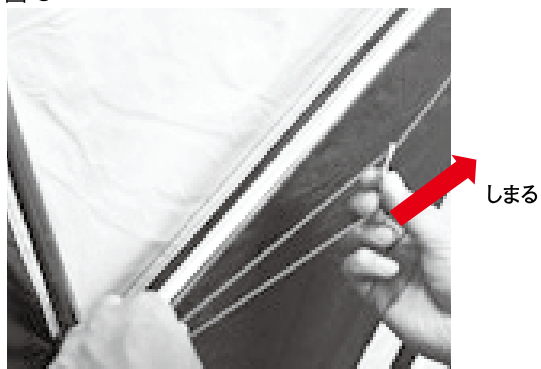


A: コードの端のトグル(図-2側)を、モールド中央の穴に通して、後ろで  
トグルを横向きにして引っ掛けます。



B: 反対側の端も同様にして、トグルを引っ掛けます。

図-C

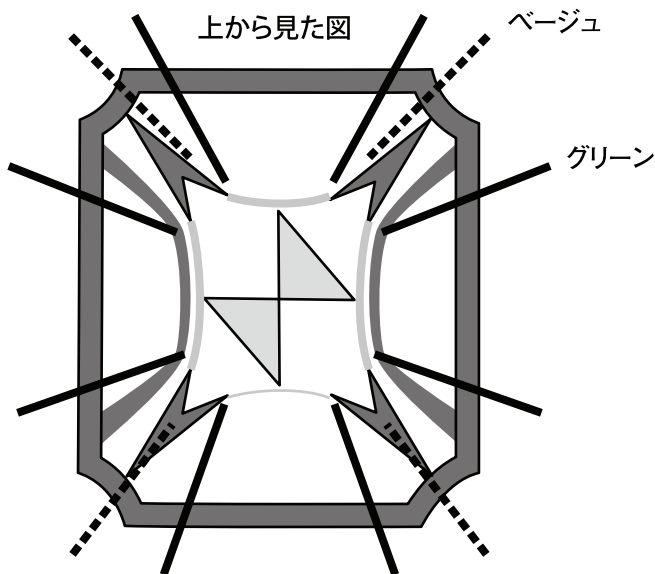


C: 自在金具をスライドさせ、はり具合を調整して固定します。

## VII ロープを張り固定する

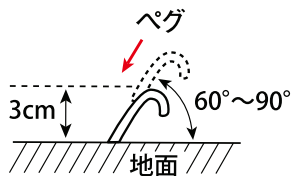
### STEP 17

ストームガードシステム(ストームガードに付属のロープを結び、ペグで固定する方法)により、タープの安定性を高めます。  
ストームガードに付属のロープを結び、図のようにペグで固定します。

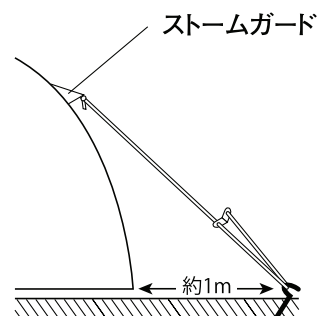


—— グリーン    - - - - - ベージュ

上図の要領にてロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグ打ちをして固定します。自在をしめあげて、ポールが前後左右に大きく動かないようロープの長さを調整します。

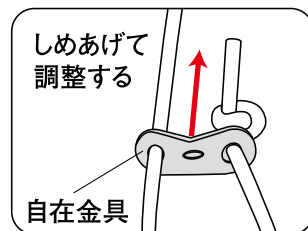


ペグは引かれる方向の反対側へ60°~90°の角度に打ち込むと風に対して強く設営できます。



自在ロープの端をストームガードのループに結びます。ペグを打ち、ロープをかけて自在をしめ長さを調整します。

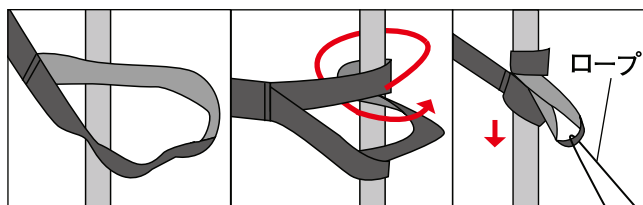
自在の使用方法



**注意**

タープは構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。  
好天気でも「ストームガード」を必ずご活用ください。

●ストームガード  
本製品はストラップ状のストームガードをポールに巻きつけて固定することにより、安定性をさらに高めています。



1



2



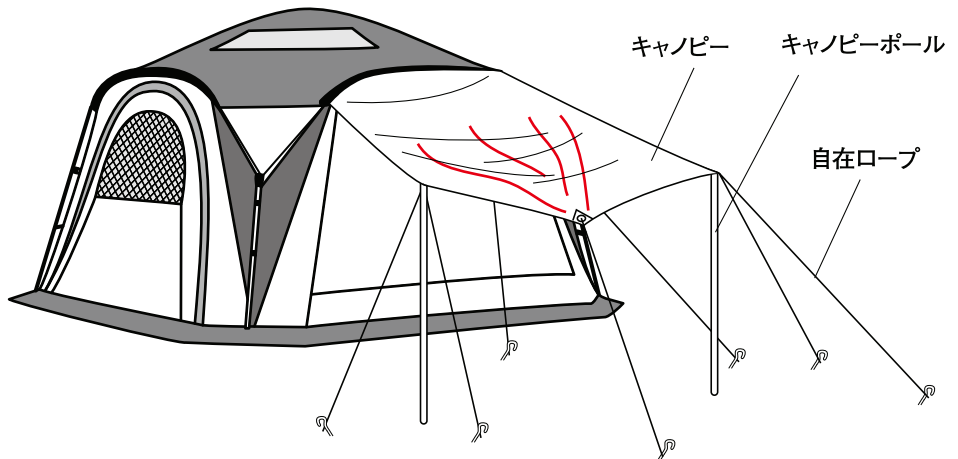
3



キャンपीーとして活用する場合は、付属のキャンピー用ポールを使用します。

## STEP 18

キャンピーとして活用する場合は、付属のキャンピーポールを使用します。

**注意**

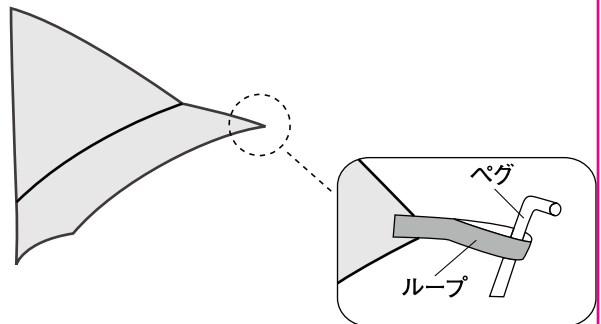
雨天時にキャンピーを活用する際は、水がたまりやすくなりますので、傾斜を作るか、中央部にロープを結びペグ止めてして雨水を流してください。

**注意**

雨風の強い時は、必ずキャンピーを閉じてください。ポールが折れる可能性があります。

●スカートへのペグダウンについて

スカートの端にはループがついています。強風時や、寒冷時にペグで止めることにより、風のふき込みを防ぎ、保温力を高めます。

**注意**

このループは、本体を固定する為のものではありません。強い力が加わると、破損する場合があります。



### ●スカイビューベンチレーションについて

当製品の天井部には、ファスナーで開閉可能なフラップと換気効率の良い大きなメッシュパネルを装備しています。ルーフフライシートのクリアウインドウとの組み合わせで、換気+採光とを調節することができます。

#### フラップフルオープン

採光 + 換気

タープ内を明るくし、換気をしたい場合。



#### フラップを半分のみオープン

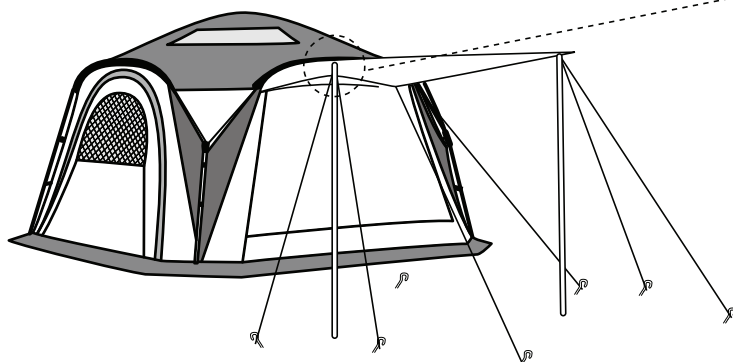
換気

室内がまぶしいときに換気だけしたい場合。

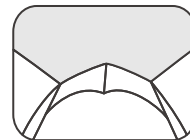
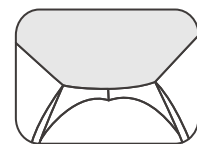
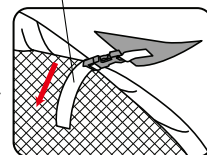


### ●ハイビューシステム

フロントキャンピーの中央部のバックルを締めることにより、中央部のたるみを取りキャンピーを高く使用できます。

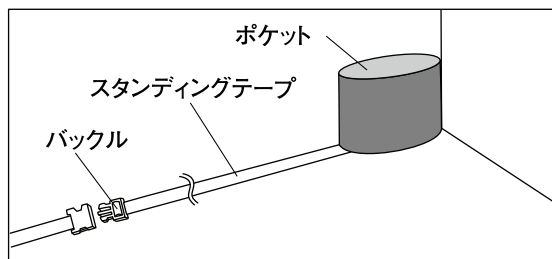


しめる

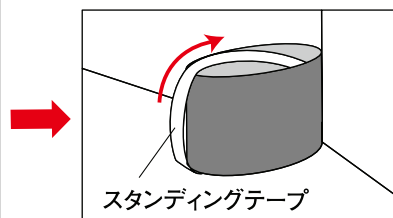


### ●スタンディングテープについて

設営後、スタンディングテープについているバックルを外し、反対側のポケットに収納することができます。



収納



**注意**

スタンディングテープのバックルを外した場合、ポールが動く場合があります。

## IX

## テントとのジョイント(左右方向)

本製品は、コールマン製のキャノピータイプのテントとのジョイントが可能です。  
ジョイントはテント設営後に以下の手順で行います。

### STEP 1

タープの側面(アーチポール面)のフラップを巻き上げておきます。ジョイントするテント側のキャノピーを巻き上げます。



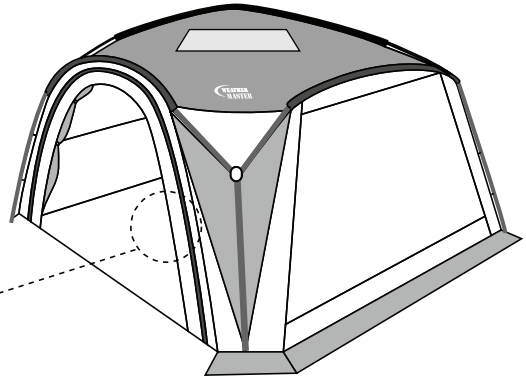
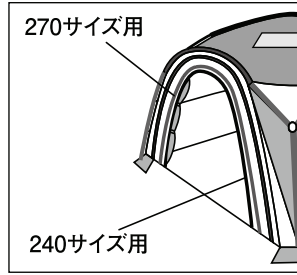
キャノピー付テントとジョイントする場合は、テント側のキャノピーは上に巻き上げておく。

テントのサイズにより、使用するジッパーが違います。

片側は2つのジッパー

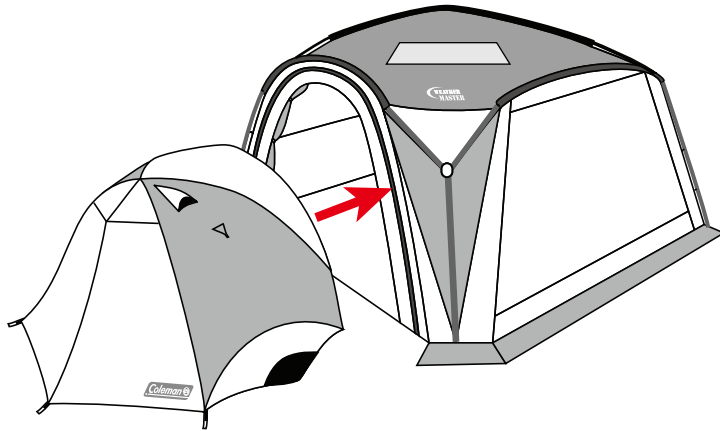
270サイズ用

240サイズ用



### STEP 2

ジョイントするテントをタープの中へ移動します。タープと重なる幅は、テントのサイズ・形状により異なります。適時調整してください。

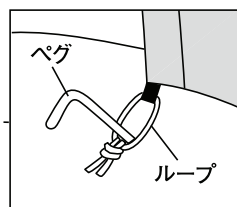
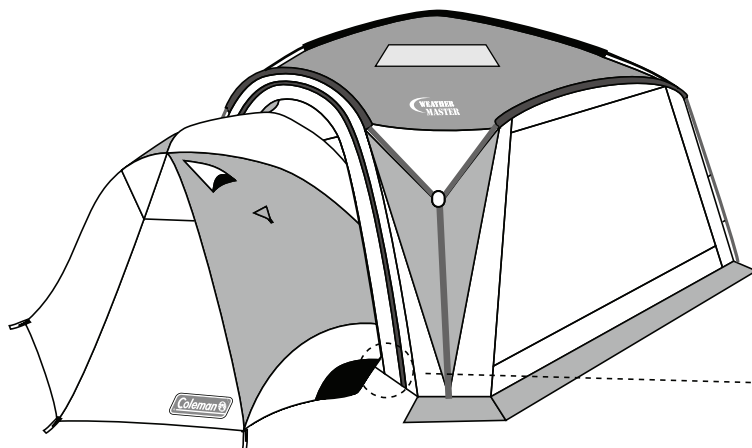


**注意**

※フラップをかぶせてタープとテントをジョイントする仕組みです。  
完全に雨・風・虫等の侵入を防ぐことはできません。

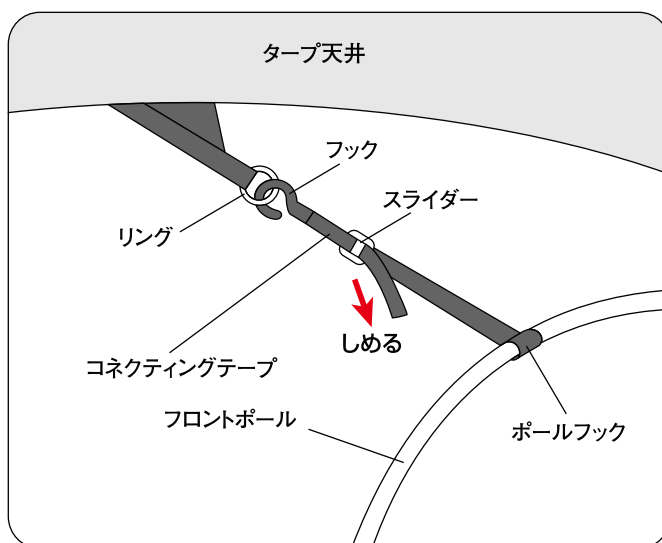
### STEP 3

タープの側面のフラップのすそについているループをペグで止めて固定します。



### STEP 4

タープ天井のリングに、コネクティングテープのフックをかけます。  
テープ反対側のポールフックを、テントのフロントポールにかけます。  
テープの-sliderをひっぱり、張り具合を調整します。



#### 注意

※テントのフロントポールをひっぱらない場合、フロント前室上部に雨がたまる場合があります。

# 撤収手順

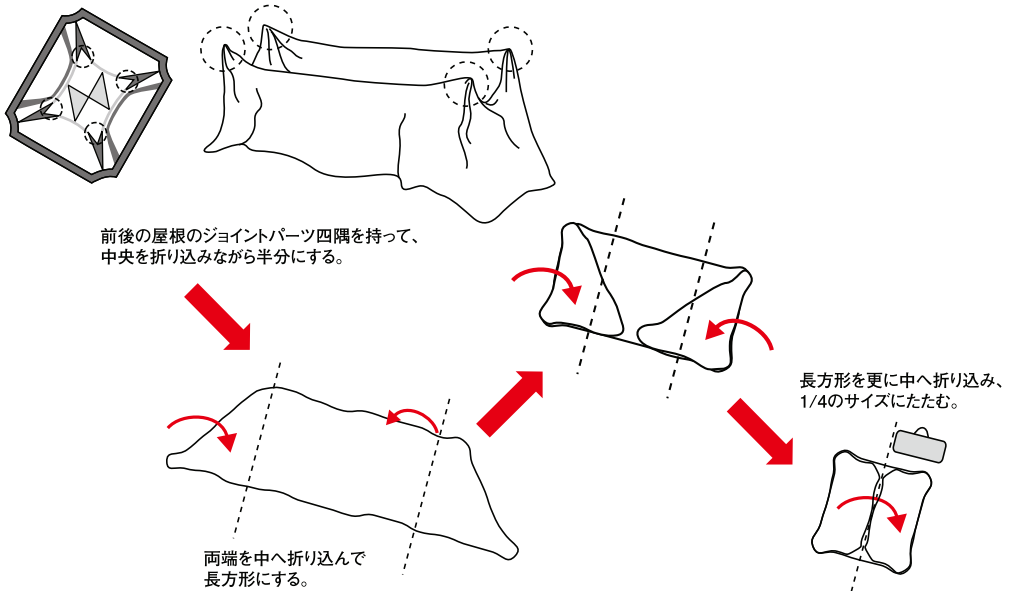
## STEP 1

タープを固定したペグ、ポールをすべて外して、下図のようにしてたたみます。



### 注意

テント・タープ生地を濡れたままで収納すると防水効果が著しく損なわれ色移りやカビ発生の原因となる為、ご使用後はフライシート・インナーテント(タープの場合スキン)の、汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。



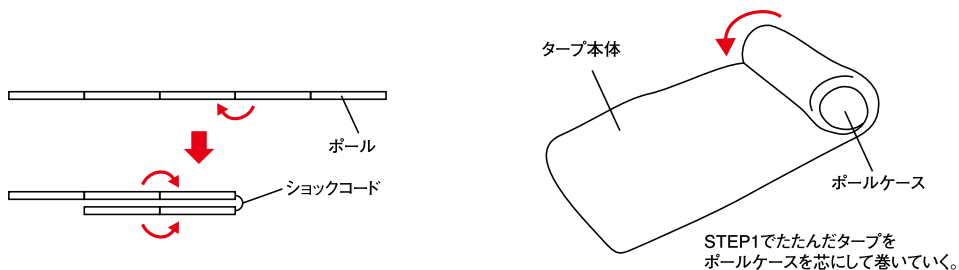
## STEP 2

ポールを全ておりたたみポールケースに収納し、本体を下図のように巻いて、キャリーバッグに収納して完了です。



### 注意

ポールを収納する際は、中央付近から折りたたむようにすると、ショックコード(ゴム)全体に均一に、テンションがかかり、ショックコードの寿命を伸ばす事が出来ます。キャリーバッグに収納する際は、固く巻かないと入らない場合があります。



コールマンジャパン株式会社

お問い合わせ先

コールマンカスタマーサービス : **0120-111-957**

受付時間:月曜日～金曜日(祝祭日を除く) 10:00～17:30